



健康福祉センターさわやか ☎76-4006

子どもの成長・発達

子どもは、常に成長・発達し続けています。成長・発達は、脳や神経の発達に伴い、からだの発達とところの発達が関係しあって起こり、同時に生活や教育環境などさまざまな影響を受けます。そのため、子どもの成長・発達を促すためには、さまざまな影響を考慮しながら、子どもの可能性を信じて、よりよいと考えられる対応を進めていくことが大切です。



乳幼児健診 を受けましょう!



乳幼児健診は、発達神経学的に重要な乳児期（4、7、10、12カ月）と幼児期（1歳6カ月頃、3歳頃）に行うことがよいとされています。町では集団健診として実施しており、対象のお子さんへ案内をしています。健診の案内が届いたら、迷わず受けるようにしましょう。

子育て ひとりで悩まないで!

「育児に自信がもてない」「どうしたらよいかわからない」など、育児をしていく上での悩みは誰でも抱えています。いちばん良くないのは、そういった悩みや不安をひとりで抱え込むことです。健診では、こどもの成長・発達の確認だけでなく、保健師や栄養士へ育児相談をすることもできます。



ふだんから気になることや育児についての悩みごとなどがあれば、この機会に気軽に相談してください。

成長・発達を促す関わり方

- ①子どもの準備状況を見きわめて整える。
まずは大人がやって見せて、見ている子どもの反応や様子を観察し、関心や意欲を確認しながら進めていくことが大切です。
- ②子どもの意思と意欲を大切にし、楽しみや自発性を尊重する。
子どものやりたい気持ちややる気などの意思・意欲を大切にする。楽しんでやることは身に付きやすいため、共に楽しみながらできる場や環境をつくりましょう。
- ③褒めたり励ましたりすることで自尊心を高める。
褒めたり励ましたりすることは基本的な対応です。子どもの自尊心を高めることが、さらに次のステップへの足がかりになります。
- ④一貫性をもち、根気よく繰り返す。
関わる人によって対応が違い、一貫性がなければ、子どもは混乱してしまいます。同じ方法で日々繰り返されることで、感覚がつかみやすくなり達成しやすくなります。
- ⑤大人がモデルとなることと、子ども同士のかかわりを大切にする。
子どもはマネっかが得意なので、大人がやって欲しいことを見せることが大切です。また、子ども同士の間での刺激し合い高めあうため、可能な限り子ども同士の接触を増やし、遊びや交流を通して発達が促されるような環境を整えましょう。

